

パトリック・メッシーナ

Patrick Messina Clarinet

南仏ニース生まれ。父の手ほどきでクラリネットを始め、ニース音楽学校入学を経てパリ国立高等音楽院に入学。ギー・ドブリュス、ミッシェル・アリニヨンに師事。18歳の若さでクラリネット科と室内楽科を首席で修了。

14歳でビュッフェ・クランボン国際コンクール(パリ)に史上最年少優勝。1992年ユーディ・メニューイン財団賞受賞。94年、フランス外務省よりラヴォワジエ奨学金を授与されクリーヴランド音楽院に留学し、フランクリン・コーエンに師事。またニューヨークのマネス音楽大学ではリカルド・モラレスにも師事。96年、イースト&ウェスト・アーティストズ国際コンクール第1位。カーネギー・ワイル・リサイタルホールでニューヨーク・デビュー。

96年から03年までニューヨーク・メトロポリタン劇場管弦楽団に参加。ジェームス・レヴァイン、ヴァレリー・ゲルギエフ、レオナード・スラトキンら巨匠指揮者たちの信頼を得る。アムステルダム・コンセルトヘボウ管、シカゴ交響楽団ほか世界各地の一流オーケストラに客演首席奏者として招かれているほか、ヒューストン響、イル・ド・フランス国立管、トゥールーズ室内管、パリ室内管、紀尾井シンフォニエッタ東京、ウクライナ国立響とソリストとして共演。

リッカルド・ムーティの指揮で自身が所属するフランス国立管弦楽団とモーツァルトの協奏曲を共演。CD化されている。

ロンドン王立音楽院客員教授、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ビュッフェ・クランボン・アーティスト。



ムーティの指揮でモーツァルトのクラリネット協奏曲を録音



「Radio France」レーベルより、注目必至の新譜がリリース！収録されているのは、今最も熱い注目を集める世界的クラリネット奏者パトリック・メッシーナのソロによるモーツァルトのクラリネット協奏曲&五重奏曲。協奏曲は2012年9月の来日公演でも演奏され、その実力が絶賛を受けたばかりなだけに期待も高まりましょう。かのメニューインに「魔法のクラリネット」と称賛された極上の音色を存分に披露しています。幅広い音域を縦横無尽に吹きこなす演奏技術も見事で、特に音量の増減による表現力には目を瞠るものがあります。モーツァルトの第2楽章の再現部、思わず耳を澄ませてしまうような小さい音から始め、徐々に音量を上げていくソロは必聴の素晴らしさ。明るく気まぐれな響きから憂愁の響きまで、メッシーナが奏でる多彩な音色に思わず聴き惚れる名演です。

※共演 リッカルド・ムーティ指揮 フランス国立管弦楽団/フィルハーモニア・カルテット・ベルリン
(販売元 キングインターナショナル)



ミロスラフ・セケラ (ピアノ) Miroslav Sekera, Piano

プラハ出身。3歳より音楽教育を受ける。映画「アマデウス」にてローマ法王の前で演奏する少年時代のモーツァルト役で出演。プラハ音楽院を経てプラハ芸術アカデミーを首席で卒業。2002年ブラームス国際コンクール第1位(埃・ペルチャッハ)をはじめ、数多くの国際コンクールで優秀な成績を収める。チェコ音楽基金の支援によりブラームス等の作品を収録したソロCDをリリース。ウィーン楽友協会ホール、ワシントンのケネディセンターなど世界各地でソリストまた室内奏者として活躍。プラハ交響楽団、プラハ・フィル等からもソリストとして頻りに招かれ、チェコ放送局などのメディアへの出演でも人気を得ている。ダグマール・ペツコヴァ(メゾソプラノ)やラデク・パボラーク(ホルン)、ヨセフ・シュパチェク(ヴァイオリン/チェコ・フィルのコンサートマスター)等のソリストと定期的に共演。「プラハの春」音楽祭公式ピアニスト。

© Jiří Ulrych

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業